

令和 3 年 3 月 30 日
財務省理財局国債企画課

「政府資金調達事務取扱規則の一部を改正する省令案」に 対する御意見の募集結果について

財務省では、令和 3 年 2 月 16 日から令和 3 年 3 月 17 日までの期間に「政府資金調達事務取扱規則の一部を改正する省令案」に対する御意見を募集したところ、1 件の御意見をいただきました。お寄せいただいた御意見とそれに対する財務省の考え方について、別紙のとおり整理しましたので、公表いたします。

なお、本件とは直接関係しない御意見がございましたが、お寄せいただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。

御意見をお寄せいただきました方々の御協力に厚く御礼申し上げます。

1. 制定した命令等の題名

政府資金調達事務取扱規則の一部を改正する省令

2. 命令等の案の公示日

令和 3 年 3 月 30 日（火）

3. 意見公募手続を実施した命令等の案と定めた命令等との差異及びその理由

附則中「様式又は」は不要なため文言を削除しました。

(別紙)

番号	御意見の概要	御意見に対する考え方
1	<p>私は、現行規則は継続すべきと考える。しかし、現行規則が効率化ではなく不正や犯罪行為への抑止力を内包していると考察している。電子情報の技術はまだ発展途上であり成熟度に欠ける。現代では電子データは第三者の介入や改竄ができるからです。2020年12月9日に医薬品の審査を行うEUの専門機関・欧州医薬品庁(EMA)がサイバー攻撃を受け、ハッカーが盗み出したファイザーやBioNTechが開発した新型コロナウイルスワクチン「BNT162b2」の情報を一部改竄してリークされた。目的はBNT162b2の信頼性を低下させようとしていたと判明しました。日本で新型コロナウイルス患者数の把握や住民票送付などでFAXを活用される理由はそこにあります。技術的にも単純素朴で理解しやすい(Simple is Best)なのです。</p> <p>近年、TBSドラマ「半沢直樹」の事もあり金融関係への注目は日々倍増しています。</p>	<p>サイバーセキュリティ対策については、重要であると認識しており、引き続き適切に対応してまいります。</p> <p>また、ご指摘の内容については、ご意見として賜り、今後の参考とさせていただきます。</p>